

令和3年度近畿地方i-Construction大賞の受賞者が決定しました!

工事・業務 審査及び選考結果

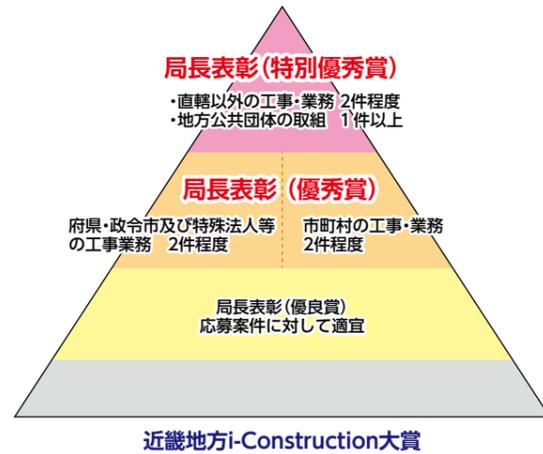
推薦団体	事業者	件名	近畿i-Con大賞表彰
京都府	株式会社巴山土木	国道307号道路新設改良工事	特別優秀賞
和歌山県	株式会社世紀工業	海南金屋線道路改良工事	特別優秀賞
滋賀県	杉橋建設株式会社	令和元年度第K18-3号百瀬川補助総合流域防災工事	優秀賞
京都府	コスモ建設工業(株)	国道372号広域連携交付金(改築)工事	優秀賞
京都府	(株)MIC	国道423号(法貴バイパス)防災・安全交付金(緊急対策)工事	優秀賞
大阪府	五大・利晃特定建設工事共同企業体	主要地方道 茨木摂津線(大岩線)道路改良工事(その6)	優良賞
兵庫県	坂野建設(株)	(二)千種川水系鞍居川 河道対策工事(その1)	優良賞

地方公共団体の取組 審査及び選考結果

推薦団体	事業者	件名	近畿i-Con大賞表彰
大阪府	貝塚市	貝塚市・DSERO共同事業「i-Construction・BIM/CIMの普及に向けたドローン測量技術の推進」	特別優秀賞

地方自治体へのICT施工を始めとするi-Construction取組の普及拡大を目的として、近畿地方i-Construction大賞を創設しました。

直轄以外の工事・業務の受注者、地方公共団体の取組を対象に、有効性、先進性、波及性の観点から審査・選考を行い、左記の通り受賞者が決まりました。



近畿のDX情報を発信

近畿インフラDX通信

2021.10
vol.04

編集・発行

国土交通省 近畿地方整備局
 近畿インフラDX推進センター
 〒573-0166 大阪府枚方市山田池北町11番1号
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/infraDX/index.html>



『近畿インフラDX推進センター』で近未来とふれあおう!

ふれあい土木展2021を開催します

子どもから大人まで、「未来」へとつながる土木技術を観て、触れて、体験できる「ふれあい土木展2021」を、11月12日(金)、13日(土)に開催します。
 4月にオープンした「近畿インフラDX推進センター」も見学・体験ができます。

11/12(金)・13(土)

10:00-16:00 [最終入場時刻 15:30]

[会場] 国土交通省 近畿地方整備局
 近畿技術事務所
 京阪バス「山田池団地」下車徒歩約2分

出展内容

① 土木・防災に関する展示・体験施設

- 近畿インフラDX推進センターの体験
- 災害対策ヘリコプターの展示
- レンガブロッカーアーチ橋組立体験
- 地震車による地震体験
- 模型による「土石流」の実演



② 土木建設機械による実演

- いろんな建設機械の運転席体験
- 橋梁点検車の展示



近畿インフラDX推進センターでは、随時施設見学を受け付けております。ご興味のある方はぜひ、下記HPよりお申し込みください。

近畿インフラDX推進サイト <https://www-1.kkr.mlit.go.jp/plan/infraDX/index.html>

・施設見学の申込み可能日は平日のみで基本的に予約制となります。
 ・予約可能日時: 平日(月~金(休日を除く)) 午前9:30~午後16:00終了
 ・BIM/CIM、ICT、無人化施工などの研修期間中は見学ができない施設があります。

・ご不明な点は、近畿インフラDX推進センター施設見学受付までお問合せください。
 ・施設見学は一団体ごとのご案内となります。

・ご予約の無い場合、他団体の見学中はお待ちいただくことがあります。
 ・人数が多い場合、案内が出来ない可能性もありますので、一度ご相談下さい。
 ・新型コロナ対策推進中です。みなさまのご協力をお願いいたします。

DX紹介 ICT講習「はじめての一步講習会」について
 京都府

DX紹介 三次元埋設管路図の整備と活用
 大阪国道事務所

情報発信 近畿i-con大賞 / ふれあい土木展のご案内

ICT講習「はじめの一步講習会」について

京都府

建設現場の生産性向上のため、i-Constructionを推進していますが、建設企業からは「何からはじめればいいのか分からない」といった意見が多い中、京都府では今年度から、建設分野のDX推進予算を活用し、府内建設業者を対象に、ICTの技術を習得するための講習会の開催や工事現場をリモートでつなぐための遠隔臨場機器の無償貸出など、受注者がチャレンジしやすい環境作りに取り組んでいます。

この講習会は、ICTに関する技術を習得するための「はじめの一步」としてi-Constructionの基礎をオンラインで学んだ後、実際の現場で3次元データの作成などのプロセスを体験・習得し、その効果について理解を深めてもらうことを目的に2部形式で開催しています。

参加者のアンケート結果として、「今回の体験会をきっかけに、ICTを活用した工事に取り組んでみたいという気持ちになりましたか?」では、「取り組みたい」との回答結果が100%となり、理由として“これからは必要と思う”等、受注者の方々の意識の向上が感じられました。また、京都府では、ICT活用の実施が確認できた工事(受注者)に、「実施証明書」を発行し、総合評価競争入札での加点など、評価する取り組みも行っております。

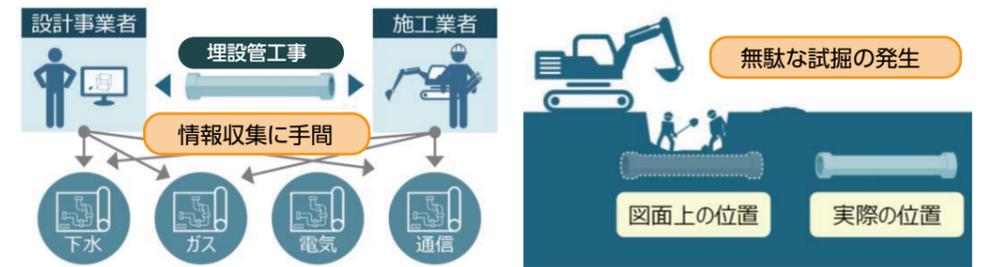
我々、府職員においても、令和3年4月から新たにオープンされた近畿インフラDX推進センターで開催されている、BIM/CIM研修やICT活用研修に積極的に参加することで、受発注者ともに生産性向上における知識の習得を行い、今後も更なるインフラDXの推進のため積極的な取り組みを行ってまいります。

三次元埋設管路図の整備と活用

大阪国道事務所

■ 地下埋設物管理の現状

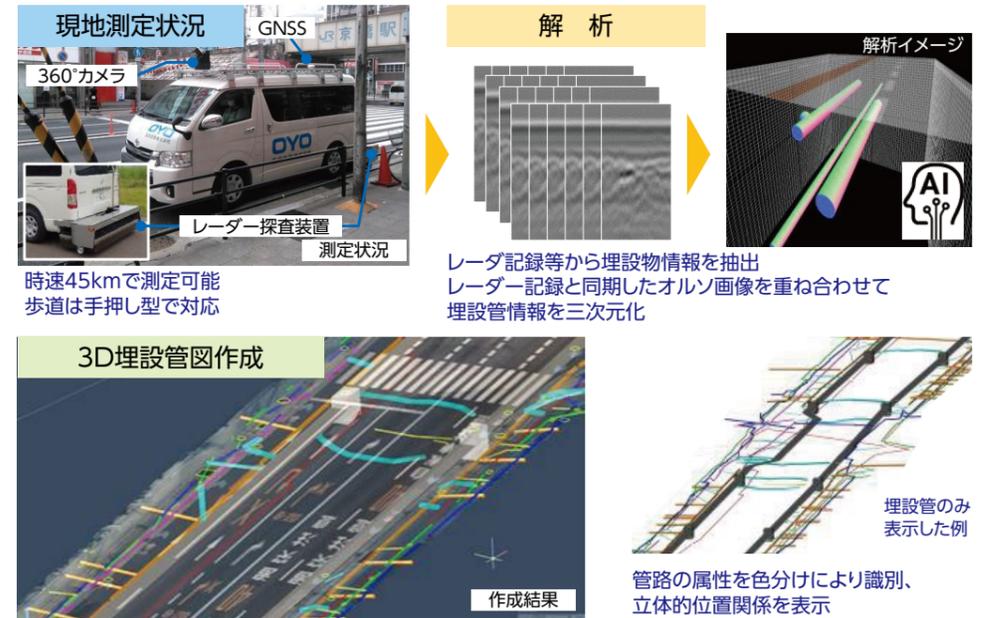
無電柱化推進計画に伴う電線共同溝整備など、地下空間の利用が注目されています。一方、地下埋設物の情報は複数のインフラ事業者が個別に管理しているため情報収集に手間と時間がかかることや、収集した情報の不正確さによる無駄な試掘の発生など、非効率性が課題となっています。



▲地下埋設物の管理上の課題

■ 車両搭載型レーダ探査+解析により地下埋設物情報を可視化

大阪国道事務所では、管内道路の一部区間において、車両等に搭載したレーダ探査装置による埋設物探査情報と路面画像、高度位置情報を解析し、三次元地中埋設物管路図を作成しました。



■ 電子占用台帳の活用

電子占用台帳として、地下埋設物情報を三次元でマップ化することにより、以下の効果が期待できます。

管理・計画	設計	施工
埋設物情報の一元管理、活用により、より効率的な管理・計画立案を実現	最適なルート/工法選択など、一部業務の自動化・効率化を実現	施工の大幅な自動化・効率化、安全な工事を実現
埋設物情報収集の工数削減	試掘工数、費用の削減 設計に係る工期の短縮	埋設物破損事故リスクの低減



1部 オンラインセミナーによる勉強会(1日目)



2部 現場体験会(2日目)



2部 3次元データ作成体験(2日目)



2部 現場体験会(2日目)